

## 第97回 高尾山GREEN CLEAN作戦

2019年6月1日(土) 晴れ

定刻に高尾山口駅前の小公園に集合、事前の準備を整えて6班に分かれて出発。ケーブルカー清滝駅構内に見事に花開いたセッコクを観察後、稲荷山コースの登りに取り付く。

この時期、高尾山では、多くの植物は芽吹き期の淡い緑色の葉はその濃さを増し、生命活動が極めて旺盛な時期を迎える。また、それに合わせ昆虫類など動物の活動も活発になる。稲荷山コースを始め高尾山の登山道は、そのような生命の息吹を随所に目にしつつ、山歩きと自然観察を楽しむ絶好の場所となる。今回も、葉上に船頭を思わせる実をつけたハナイカダ、花期も終わりを告げようとするマルバウツギやガクウツギ、今にも開花しようとしているヤブムラサキとムラサキシキブ、シロダモの芽生え、飛び交うチョウや大発生キアシドクガ等々多くの動植物を目にしなが、参加者の皆様との交流を楽しみつつ、緩い登りの稜線歩きを堪能した。

また、稲荷山の稜線を吹き抜ける涼やかな風が、この日の稜線歩きに格別の心地よさを添えてくれた。涼に加え、風が運ぶ微かな木の葉の音や小鳥のさえずりなどの自然のささやきは、そこを訪れる人々の心を豊かにする。

高尾山頂直下から、そこで一番古い人工林といわれる「江川杉」を右手に見て、紅葉台に。昼食後は、高尾山頂を経て一号路を下った。下りで特に印象的であったのはイナモリソウであった。輪生するようについた2対の葉の上に透き通るような淡い紅紫色の小さな花冠をつけたその姿は、可憐で気品に溢れていた。

午後3時過ぎ、ほぼ定刻に高尾山口駅前に帰着。収集したゴミを分別後散会。天候にも恵まれ、初夏の空のもと、全員無事に活動を終了した。



もみじ台で集合写真

観察した植物：セッコク、マルバウツギ、ガクウツギ、コゴメウツギ、カナウツギ、ツリバナ、マユミ、ハナイカダ、ヤブムラサキ、ムラサキシキブ、ヒメコウゾ、アオハダ、アブラチャン、ダンコウバイ、ゴンズイ、カラスザンショウ、シロダモ、ミズキ、クマノミズキ、ホオノキ、エゴノキ、ハクウンボク、フジキ、シラキ、ナツボウズ、ヤマガシユウ、ヤマユリ、ミヤマナルコユリ、ユキノシタ、オカタツナミソウ、フタリシズカ、シモバシラ、サイハイラン、エビネなど

拾い集めたゴミ：可燃ゴミ 200 1袋、ビン・カン、ペットボトル各 1袋、出発前に拾ったゴミ 1袋

開催場所：稲荷山コース〔清滝～稲荷山～5号路～もみじ台～高尾山頂〕

参加者：50名（一般27名、FIT会員23名）

スタッフ：入江〔代表〕、稲葉、臼井、野坂〔写真〕、廣川、福田、楨田〔補足〕

報告者：飯塚 義則

\*次回「第98回高尾山GREEN CLEAN作戦」は7月6日(土)カツラ林コース  
高尾山口駅 9時30分集合、高尾病院道～2号路～3号路～5号路～もみじ台～高尾山





開会式：安全の注意



花期終盤：マルバウツギ



花弁が巻き上がる：ウリノキ



花弁が5枚と6枚：のイナモリソウ



着生のラン：セッコク



葉が一枚のラン：サイハイラン



葉緑素を持たない腐生植物：ギンリョウソウ